

農業食料組織経営講習会 開催要領

(令和元年度 第83回「京都大学 食と農のマネジメント・セミナー」第3クラス)

「農業を買い支える仕組み」の創り方—CSR (企業の社会的責任)

と消費者市民—



主催 京都大学大学院農学研究科 生物資源経済学専攻
後援 一般社団法人 農業開発研修センター
株式会社 昭和堂
キョーワズ珈琲 株式会社

1. 趣旨

本講習会の目的は、企業の社会的責任(CSR)事業など社会貢献(社会的課題の解決)の事業化や、それら事業の改善を検討するアグリビジネスや農業食料関連組織(生協、農協、NPO)などの企画担当者(および行政やコンサルタント会社などの指導・助言者)、あるいはアグリビジネスによって倫理的調達された食品を積極的に購入する消費者市民などが、「アグリビジネスのCSR」「食品の倫理的調達」の望ましいあり方、「倫理的消費の促進」「農業の買い支え」のための仕組みを検討する力を身に付けることです。3部編成になっており、1部だけの参加も可能です。

第1部(22日午後)は、国連・世界食料保障委員会専門家ハイレベルパネル『家族農業が世界の未来を拓く』(農山漁村文化協会、2014年)の執筆者の1人であり、現在は国連食糧農業機関(FAO)・世界農業監視プロジェクトのリーダーを務めるボスク氏(フランス農業開発研究国際協力センター)から、世界の農業経営の太宗を占める小規模な家族農業が果たしている大きな役割と、その持続可能性を保障するための政府支援やアグリビジネス・消費者市民による買い支えの重要性を学びます。共同研究者の1人である関根氏(愛知学院大学経済学部)が逐次通訳とコメンテーターを担ってくれます。同講義を受けて、その農産物を倫理的調達・消費して家族農業を支える仕組み(フェアトレード、CSA、産消提携)を紹介するのが辻村の講義になります。

第2部(23日午前)は、予習が求められる本講習会のテキスト(『農業と経済 2019年9月号』)の、特に「SDGs時代の食品産業—アグリビジネスにとってのCSRのあり方—」について、辻村が解説する講義の後、同テキストにおいても望ましい事例として紹介されているCSRの先進企業・オムロンの黒川氏から、企業理念に基づく経営構造・企業文化の確立や、社員全員が常に「よりよい社会づくり」への寄与を探し求め、同社の経営資源の下で事業化していくプロセスなどを学びます。

第3部(23日午後)の辻村の講義は、キョーワズ珈琲が企業理念に基づいて展開するコーヒーのフェアトレードをめぐる、その産地(キリマンジャロ山中のルカニ村)における影響(成果と課題)について、2019年9月に現地調査した成果の報告です。

3部すべての講義を受講し、望ましい「アグリビジネスのCSR」や「食品の倫理的調達」のあり方、「倫理的消費の促進」や「農業の買い支え」の仕組み、などを検討するレポートが合格水準に達していれば、修了証書を発行します。レポートは1週間後に提出してもらい、さらに1ヶ月後、辻村・鬼頭がコメントを入れてレポートを返却します。修了証書はそこに同封します。

なお第2部には、本学の食料・環境経済学科「食農倫理論」の受講生も参加します。将来を担う学生たちとの交流、情報交換の場としての位置付けもしたいです。また講習会終了後も、受講者と講師陣の間で情報交換できるよう、ネットワーク構築に努めます。そのため最後に、第3部の参加者を中心に交流会を開催します。

2. 期日・場所 令和元年11月22日(金) 13時00分～17時00分
11月23日(土・祝) 9時30分～17時00分
京都大学北部構内・農学部総合館W422教室

3. 受講定員・料金 ①1部のみ 50名 1,000円
②全部(3部+レポート) 30名 4,000円
③交流会 30名

交流会につきましては4.申込方法のe)をご参照ください

*受講料は、申し込み後、受講者決定通知を送付しますので、通知書を受け取り後指定の銀行に振り込んでください。一度納付された受講料は、欠席の場合など理由を問わず返還することができませんので、ご注意ください。他にテキスト代が必要です。これは受講者への通知に案内します。

4. 申込方法

- a) 申込期間 令和元年11月19日(火)まで
(定員になり次第〆切ります)
- b) 申込手続き 別紙申込書に必要事項を記入し、返信用封筒(長3規格、切手84円貼付、返信先の住所・氏名記入)を同封のうえ申し込んでください。
電話での申込は受け付けいたしません。
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 公開講座 係
電話 075-753-6200
- c) 申込の受理 受講者決定通知及び講習会案内を発送します。
- d) 受講料納入方法 令和元年11月21日(木)までに銀行振込
振込先 三井住友銀行京都支店(銀行コード0009 店番号496)
口座名義 国立大学法人京都大学
口座 普通預金
口座番号 8089363

*振込手数料は自己負担です。備考欄には公開講座受講料と記入してください。

*京大の領収書は発行しません。銀行振込書が領収書に変わるものですから大切に保管してください。

*振込み時の領収書(写)を、当方に郵送かFAX(075-753-6191)にて送付してください。

e) 交流会 1,000円(軽食・コーヒー代)は当日会場にてお支払いください

5. その他

講習会についてのお問い合わせは上記「公開講座係」宛にお願いします。

申込用紙は京都大学ホームページからもダウンロードできます。<http://www.kyoto-u.ac.jp>

令和元年度（第83回）農業食料組織経営講習会の講習内容と講師

■ 11月22日（金） ■

- 13:00～13:15 開講の挨拶と解題／レポート課題の説明
京都大学大学院農学研究科 教授・辻村英之 講師・鬼頭弥生
- 13:15～14:35 小規模家族農業の役割と持続的発展のための課題
国連食糧農業機関(FAO)・世界農業監視プロジェクト・リーダー
ピエール・マリー・ボスク
- 14:35～14:45 コメント（逐次通訳：13:15～14:35）愛知学院大学経済学部・准教授 関根佳恵
- 14:45～15:15 質疑応答
- 15:30～16:30 農業を買い支える仕組み—フェアトレードと産消提携—
京都大学大学院農学研究科・教授 辻村英之
- 16:30～17:00 質疑応答

■ 11月23日（土・祝） ■

- 9:30～10:30 アグリビジネスにとってのCSRのあり方
—『農業と経済—SDGs時代の農業・農村、食品産業』の読み方—
京都大学大学院農学研究科・教授 辻村英之
- 10:30～11:00 質疑応答
- 11:00～12:00 オムロンの企業理念経営—インダストリアルオートメーション事業での実践—
オムロン・インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー人財戦略室・室長
黒川興紀
- 12:00～12:30 質疑応答
- 昼食—
- 13:30～15:00 ルカニ村・フェアトレード・プロジェクトの現状と課題—現地調査の報告—
京都大学大学院農学研究科・教授 辻村英之
- 15:00～15:45 質疑応答
- 15:45～15:50 閉講の挨拶 京都大学大学院生物資源経済学専攻・専攻長 辻村英之
- 16:00～ 17:00 交流会—フェアトレードコーヒーを飲みながら—

農業食料組織経営講習会申込書

令和元年度（第83回）食と農のマネジメント・セミナー 第3クラス

- 1) 氏 ^(ふりがな) 名 年齢 才
- 2) 住所（私宅） 〒
(電話 - -)
- 3) 職 業
- 4) 勤 務 先 職名
- 5) 勤務先住所 〒
(電話 - -)
- 6) 受 講 希 望（数字に○をつけて下さい）
①1部のみ ②全部（3部+レポート） ③交流会

上記のとおり申し込みます。

令和元年 月 日

京都大学大学院農学研究科・生物資源経済学専攻

専攻長 辻村 英之 殿

氏 名 印

個人情報につき、当公開講座目的以外には使用しません。